

日本労働安全衛生コンサルタント会新潟支部ニュース 目次

発刊年月日	号	労働局の窓	支部長挨拶	視点	研究会紹介	新入会員紹介	支部トピックス	
2004.10.01.	第 11号	井上博：安全衛生管理は経営トップの意識と行動力から	田村三樹夫：リスクアセスメントで改善推進	矢崎芳直：事例継承の取り組みより、 鈴木武男：7・13 水害と危機管理、 鈴木直夫：フェールセーフ技術で労災を防ごう、高橋良政：局排と環境、 尾形尚武：水害、豊島豊秀：中小企業安全相談センターの運営について、 山口勝彦：目に入っているも見えていない、 長沼毅：労働衛生教育のレベル設定について、		小林隆司、 関本久、 阿部幸雄（ゆきお）		
2005.10.01	第 12号	古田勝英：世の中のあらゆる活動はすべて人が鍵である	田村三樹夫：安全文化の高揚	矢崎芳直：J R福知山線の脱線事故に関連して、鈴木武男：電気安全について、		五十嵐俊彦、 鈴木弥寿春（やすはる）、 相馬英昭、		

				鈴木直夫：労働災害の根本原因はどこにあるのでしょうか？尾形尚武：カイロの交通事情、 豊島豊秀：中小企業安全相談センターの運営について、		中平浩人（なかだいらひろと）、 野沢幸男（ゆきお）		
2006.10.01	第 13 号	立原新	田村三樹夫：労働安全衛生法の改正と企業の社会的責任	長沼毅：石綿に関する諸問題と最近の動向、 矢崎芳直：リスクアセスメント雑感、 鈴木武男：中小企業におけるリスクアセスメントの導入について、鈴木直夫：労働災害は予知できるのでしょうか？五十嵐俊彦：労働安全衛生コンサルタントとしての改正労働安全衛生法・規則への対応—安全管理者選任時研修講師養成講座に参加しての感想—、鈴木弥寿春：石綿問題について、長沼毅：化学物質等のリスクアセスメントの背景と課題、		興梠健郎、 井筒威久（たけひさ）、 山本芳比古（よしひこ）		

2007.10.01	第 14 号	関川美秋： みんなで進めるリスクアセスメント	田村三樹夫： 先ずはリスクアセスメントの実施	鈴木武男：リスクアセスメント導入に際して感じたこと、鈴木直夫：「安全配慮義務」は何をすればよいのでしょうか？豊島豊秀：安全衛生小史、尾形尚武：天災と労災、五十嵐俊彦：雑感、産業医活動を振り返って、鈴木弥寿春：石綿問題について、長沼毅：失敗学、	新潟産業保健研究会		豊島豊秀氏に 会長功績賞	
2008.10.01	第 15 号	吉田清弘：最近の安全衛生	興梶建郎：新支部長挨拶	田村三樹夫：支部長退任に当って、		内田満夫、横田清士、但田	危険性感受性向上教育普及	
		生の状況について		新しい執行体制 栗田文夫：安全交友録、羽尾博隆：雑感、井筒威久：足らざるを知る、鈴木弥寿春：石綿問題について、 関本久：事務局長引継ぎで感じたこと		沅（ただひろし）	促進指導員	

2009.10.01.	第 16号	有賀康雄： 受動喫煙対策 の状況について		尾形尚武：中小経営者の苦悩三話、 鈴木武男：リスクアセスメントで陥りやすい錯覚、 豊島豊秀：作業手順書改善の提案、 横田清士：実感、阿部幸雄：安全の言葉二題	長沼毅：新潟産業保健研究会	西村義孝、渡辺一夫	新潟支部第17回定時総会、実施状況報告 (事務局)、安全衛生相談センター相談員を派遣した事業場、編集後記	
2010.10.01.	第 17号	有賀康雄： 新潟よもやま話	興梠建郎：これからのコンサルタント業務を考える	尾形尚武：退会に当たって、思いつくままに、鈴木直夫：生涯研修は楽しい、田村三樹夫：リスクアセスメントで継続的改善、 鈴木弥寿春：石綿・振動について、 鈴木武男：リスクアセスメントと作業書を同時に準備、 関本久：事務局長引継ぎ後に感じたこと、 阿部幸雄：自然観察は面白い	豊島豊秀：安全衛生相談センターの活動			

2011.10.01.	第 1 8 号	渋谷昇：健康安全課長に就任して	鈴木弥寿春：新潟支部の歴史と事務局交替に思う	山口勝彦：本当の原因はどこに、 豊島豊秀：コンサルタント業務を振り返って、 但田汎：災害ゼロから危険ゼロへ、 相馬英昭：調剤薬局に勤務して、 五十嵐俊彦：環境マネジメントシステム体系（EMS, ISO14000s）とは一その有効性を確かなものとする為に、 阿部幸雄：未曾有の大災害に思うこと、		佐々木明、 藤巻一光（いっこう）、	新潟支部第16回定時総会、 事務局長交替、 北関東・甲信越ブロック会議、 会員移動、	
2012.10.01.	第 1 9 号	島崎祐希(新潟労働局労働基準部健康安全課長)：海外の安全衛生事情について	鈴木武男：新潟支部長に就任して	五十嵐俊彦：環境マネジメントシステム(EMS)におけるマテリアル フローコスト(MFCA)の意義、 高橋良政：変わる事について、 田村三樹夫：危険感受性を高めて本質安全化を推進、 阿部幸雄：統計から見たこれからの安全管理		内山秀明、大島厚夫、柿原敏夫、風間咲美、鈴木誠、鈴木美和、渡邊路子		

2013/10/01	第 20号	長谷川文雄 (新潟労働 基準部健康 安全課長) : 労働災害の 現 状と今後の 対策		鈴木武雄： 0才現役時代に向 けた私の取り組み、長沼毅： 衛生管理特別指導事業場の指 導事例と雑感、 但田沆： 開口部からの墜落災 害、 五十嵐俊彦： 環境マネジメン トシ ステム（EMS）の将来、鈴 木誠： 建設業（中小企業）の メンタルヘルスの導入につい て感じたこと、藤巻一光： O SHMSの効用、阿部幸雄： エコドライブの勧め		内納大典（う ちのうだいて ん）	会員訃報：長沼 毅副会長 (2013/09/27)	
------------	-------	---	--	---	--	------------------------	---------------------------------	--

2014/10/01	第 2 1 号	長谷川文雄 (新潟労働基準部健康安全課長): 労働災害の現状と今後の対策	五十嵐俊彦: 新潟支部長に就任して一改めて労働安全衛生コンサルタント業(労コン)を行う時の態度を見つめ直して	鈴木武男前支部長:支部長を退任して、支部長を退任して、 高橋良政新副支部長:失敗例、 横田清仕新副支部長:コンサルタント力、 但田沆(ただひろし)新相談センター所長:5S活動(整理、整頓、清掃、清潔、躰)私の感想、 五十嵐俊彦:進まない労働安全衛生マネジメント(OSHMS)導入への対応策、鈴木誠新研修委員会担当:研修委員会のご挨拶と労働安全衛生マネジメントシステムを行ってみて、		高橋則夫、相田八郎		
				鈴木美和新広報委員会担当:組織活動家に繋がる健康づくり				

2015/12/13	第 22 号	吉岡健一 (新潟労働局労働基準部健康安全課長): 労働災害の現状と今後の対策	五十嵐俊彦: ISO マネジメントシステム(MS) 規格の改正動向	但田沆(ただひろし) 相談センター所長: 下戸(酒の弱い人)のひとり語、 田村三樹夫: インフラ長寿命化社会の到来に対応する安全衛生管理、 相馬英昭監事: 私にとっての生涯スポーツ、 西村義平: 「医師である衛生管理者」について思う、 藤巻一光理事: OSHMS の ISO 化、 佐々木明監事: 海外安全パトロール、 渡邊路子理事: 睡眠と健康、鈴木美和理事: 「健康経営アドバイザー」資格創設に思うこと、				
------------	--------	---	--------------------------------------	--	--	--	--	--

2016/09/24	第 23 号	吉岡健一 (新潟労働局労働基準部健康安全課長): 労働災害の現状と今後の対策	五十嵐俊彦: 現在新潟支部の直面する 3 つの問題点	鈴木誠: 事務局長に週にして、 但田沆 (ただひろし): ヒヤリハット活動の形骸化に思う、 西村義孝: 雑感、 大島厚夫: 暑さのストレスチェックを、		長谷川信 (まこと)、 橋本滋 (しげる)、 田村佳之 (よしゆき)	会議行事渉外関係、 広報委員会報告、 事業委員会報告、 業務研修会報告、 新潟支部の運営、	編集後記
2017/10/01	第 24 号		五十嵐俊彦: 医療機関における省エネを考える	但田沆 (ただひろし): 労働災害多発事業場安全研修会、 鈴木誠: 事務局長挨拶、 大島厚夫: 働き方改革ってなに! 横田清士: 助成金活用の心得、			鈴木武男前支部長が会長功績賞を受賞、 鈴木武男: 会長功労賞を受賞して、 インタビュー: 西村義孝、鈴木直夫、 鈴木誠: 総会を終えて、	

2018/10/01	第 25 号	高橋秀人 (新潟労働局労働基準部健康安全課長): 第 13 次労働災害防止推進計画	五十嵐俊彦: 第 13 次労働災害防止 5 年計画	田村三樹夫: 新潟労働局長功績賞を受賞して、横田清士: 安全管理特別指導事業場のコンサルタント業務を通じて、高橋良政: 色々な特性を持つ化学物質、但田沆 (ただひろし): 安全衛生管				
				理計画書について、鈴木誠: ノウハウとノウホワイ、佐々木明: 落語「百年目」、相馬英昭: 薬局にて、藤巻一光: 災害調査は誰がすべきか、内山秀明: 阿吽の呼吸、渡邊路子: 産業保健と労働衛生コンサルタント、鈴木美和: 第 4 次産業革命と労働安全衛生、			dai	
2024/12/1	第 26 号		五十嵐俊彦: コロナ後 6 年ぶりの復刻、北関東甲信越ブロック会議報告					

発刊年月日	号	労働局の窓	支部長挨拶	視点	研究会紹介	新入会員紹介	支部トピックス	
-------	---	-------	-------	----	-------	--------	---------	--

日本労働安全衛生コンサルタント会新潟支部ニュース、第26号、2024/12/1

「日本労働安全衛生コンサルタント会北関東・甲信越ブロック会議報告」

新潟支部 支部長 五十嵐俊彦

はじめに

（一社）日本労働安全衛生コンサルタント会北関東・甲信越ブロック会議が、茨城、栃木、新潟、山梨、長野の5支部の参加で、新潟県長岡市で開催されましたので、ここに報告申し上げます。

1. 開催

日時：令和6年11月22日（金曜日）

場所：ホテルニューオータニ長岡

2. 出席者（敬称略）

来賓：

新潟労働局労働基準部健康安全課課長 村井千春

本会副会長 高橋明彦

本会専務理事 田中正晴

支部：

茨城支部 支部長 松葉斉

栃木支部 副支部長 秋葉一好

事務局 佐々木隆

山梨支部 支部長 荻原正弘

事務局 上野一雄

長野支部 支部長 新保修司

新潟支部 支部長 五十嵐俊彦

副支部長 横田清士

副支部長 高橋良政

事務局 鈴木誠

理事 藤巻一光

会員 高橋則夫

会員 内納大典



3. 次第

会議：13：30-15：30

1) 開会宣言：新潟支部副支部長 高橋良政

2) 支部長挨拶：新潟支部支部長 五十嵐俊彦

3) 来賓紹介・挨拶：

新潟労働局 労働基準部 健康安全課課長 村井千春様

本会副会長 高橋明彦

本会専務理事 田中正晴

4) 議事

本部会務報告

各支部の活動報告

5) 特別講演 15：40-16：10

演題：労働安全衛生コンサルタントが知っておくべきハラスメント対応

講師： 美咲法律事務所 弁護士 五十嵐勇

6) 情報交換会: 16:30-18:30

5. 来賓挨拶

6. 各支部からの報告、検討

問題点： 1. 兼業現役世代の副業コンサルタント業務の困難さ、2. 定年後にコンサルタント業務を開始した場合、高齢となり、肉体的に厳しい、そのために、業務部会員、特に、安全対応の会員の高齢化が顕著である、3. 労働安全衛生コンサルタントの認知度が低く、ホームページ等の利用が求められる、4. 入会・維持の経費と業務受注による収入が釣り合わない、等が話題となりました。

主催者として、特に興味深い話題を提供したいと思います：山梨支部からの話で

「当支部業務部会員は高齢者が目立つ。ただし、高齢でも支部を介さず個人的に特殊な農林業務に特化した経験者として業務委託を受けている好事例があります。山梨は零細高齢の果樹栽培が多くので墜落転落災害が多く、全国展開している大規模農林業の安全対策は適用されない特殊性がある。よって、従来の受託の安全指導には不向きな地方性がある。個人的には、専門性が本物であれば個人としての受注は可能であると思う。」とのことでした。コンサルタントと聞くとホームページ・オープンAIもど

きのウサン臭さが指摘される昨今ですが、実地で培われた専門性は揺るぎの無いものであることを実際に証明しているベテランの活躍事例に敬服しました。また、潜在的な需要が未だあることを知り、広報活動のやり方を再検討する必要性を感じました。

今回、会議を通していろいろ考えさせられました。今後も本会で発展できるよう期待しております。